尼崎市都市緑化植物園

2017年４月1日発行
公益財団法人　尼崎緑化公園協会
URL://www.amaryoku.or.jp/

緑の相談所だより

4 5
No,367

チューリップ　学名：Tulipa
ユリ科の球根植物。西アジア、中央アジア、北部アフリカにかけて、約100種の原種が分布するといわれています。
春の花の代表格ですが、特殊な冷凍処理で秋・冬に花を咲かせるアイスチューリップが開発されています。

amaryoku flower and green news

尼崎の伝統野菜

皆さんは元より日本に自生する野菜は何種類ぐらいあると思いますか。実は意外に少なく約20種類程と考えられています。その主なものにはうど、じねんじょ、せり、ふき、みつば、みょうが、わさび、じゅんさい、あさつき、さんしょう、ゆりなどがあります。私たちが普段食べている野菜のほとんどは外国から渡ってきた野菜です。例えば、大根は地中海沿岸が原産です。しかし、その大根も中国を経て日本に入り各地で栽培されると、その土地の環境によって、様々に変化しました。京都府の伝統野菜である聖護院だいこんは、近畿地方の粘土質で根の広がる層が浅い土壌で作られた為、下に伸びず丸い形になったのではないかといわれ、逆に東京の伝統野菜である練馬だいこんが太くて長いのは、火山灰で覆われた土地で、根が長く伸びやすいからではないかと言われています。(ちなみに私たちが食べている白い部分は大根の根と茎です。)

渡来した野菜は、作られる地域の土壌、気候風土、食文化、慣習などに合うものが、選抜され、採種を繰り返し、地方独自の特色ある野菜になりました。それらの野菜は現在スーパーで売られているF_1品種(次ページに解説)と比べて不揃いで、栽培に手間が掛かります。尼崎の伝統野菜に認定されている尼藷も、農家さんによると形が悪くて、どこにイモができるかわからないので、手掘りじゃないと収穫ができないといわれています。そのようなことも一因となり、一時は衰退した伝統野菜ですが、京野菜ブームが起こり各地で細々と作られていた伝統野菜が注目されてきました。こだわりを求める人が増え、個性ある伝統野菜が時代に合っているのかもしれません。

尼崎市の伝統野菜2品種を紹介します。

右：尼藷から作った焼酎「尼の雫」。伝統野菜の復活で特産品も生まれました。

尼藷（あまいも）

尼藷はサツマイモの一種です。サツマイモの原産地はメキシコを中心とする日本より暖かい地方です。日本へは1600年頃に中国から琉球へ、そして薩摩(鹿児島県)に伝わったそうです。江戸時代中期、尼崎でもサツマイモが作られるようになりました。そのひとつが尼藷と言われています。尼藷は昭和の初期にかけて、尼崎南部の臨海地域で盛んに栽培されました。上品で優しい甘さがある尼藷は好まれていたそうです。当時は７月～８月のまだイモの部分が細いうちに収穫し、大阪や京都の料亭へ出荷したり、地域の地蔵盆のお供えなどに使われていました。最盛期には2,400トン生産されていましたが、昭和になり工場の進出による農地の減少や、京阪神市域に甚大な被害をもたらした室戸台風やジェーン台風により、尼藷は一度絶えてしまいました。

しかし、平成12年「尼崎公害患者・家族会」の皆さんの活動がきっかけとなり、尼崎市で尼藷復活への取り組みが始まりました。書籍に残る情報や、かつて尼藷を食べた人、育てた人の意見、尼崎の風土に合うもの、様々な角度から品種を絞り込み、茨城県の農業生物資源ジーンバンクよりサツマイモの苗を取り寄せ、栽培が始まりました。最近では育苗も尼崎市内でできるようになり、昨年は尼崎市制100周年の記念給食として市内の学校給食にも登場しました。農業祭など、尼藷が楽しめるイベントも開催されています。

武庫一寸ソラマメ（むこいっすん）

諸説ありますが、ソラマメの原産地は西アジアから北アフリカなどと言われています。エジプトでは4,000年も前から栽培されていたそうです。尼崎の伝統野菜である武庫一寸ソラマメのルーツについて、尼崎市のＨＰによると『天平８年(西暦736年)に来朝したインドの僧侶を、行基上人が摂津国難波津にお迎えした際、僧侶は行基に「王墳豆(おたふくまめ)」という豆を与えたのが、わが国のソラマメの伝来となりました。この豆を農家に試作させたところ、生育がはなはだ良く、元の豆以上に大きくおいしく育った』とあります。武庫一寸ソラマメは日本の大粒のソラマメの原点ではないかといわれ、ひと粒が約一寸(3.3ｃｍ)と大きいのが特徴です。1930年代から系統の選抜や、採種、優良種子の確保を行い、栽培を続け遺伝資源を絶やさずにきました。しかし、マメ科の野菜は全般的に連作を嫌うので、同じ場所で作り続けることが困難です。尼藷と同様に都市化による農地の減少といった理由などにより収穫量は減少しています。幻のソラマメとも言われています。

参考図書：堀佐知子監修(2016)『地野菜 / 伝統野菜』丸善出版、　芦澤正和監修(2002)『都道府県別地方野菜大全』農村魚村文化協会
資料提供：尼崎市農政課

F1（雑種第一代）種子について

（一社）フラワーソサエティー会長　長村　智司

種子は両親の半分ずつの遺伝子を受け継ぎますから、親と似ているけどどこか異なっています。これを有性生殖といいます。挿し木や球根などのように、元の植物の細胞がそのまま使われている場合は無性生殖で、種子繁殖に対して栄養繁殖といわれます。

種子繁殖のうち、そのグループ内で掛け合わせが行われて、人間に都合の良い形質が連続して維持される時、そのグループを固定種といいます。コメのコシヒカリなどはその代表です。伝統野菜などもよく似ていますが、好ましい形質が維持されるように選抜してから種子を作ります。固定種といえるまでの均一性が無いのが一般的です。神戸市北区の淡河町が産地のシンテッポウユリは、元々テッポウユリに台湾のタカサゴユリが交配されたもので、種子から育てる特徴を守っています。形質の良いものだけを選抜して、それらを相互交配して維持されています。

F_1種子（雑種一代交配種子）も種子繁殖ですが、人間に好都合な優性形質がでるような組み合わせです。したがって両親の形質は非常に異なっていることが多いです。ちなみに優性とは優れているという意味ではなく、掛け合わせした時によく発現する方の形質という意味です。F_1種子を咲かせて次世代の種子を採れば、形質がかなりばらつくのが一般的で、これが種子会社の権利を有効に守っています。病気に対する抵抗性が付け加えられることもあります。

種子繁殖、特にF_1による繁殖では、雑種強勢といって、栄養繁殖よりは植物体がリフレッシュされて強健になります。よく似たもの同士では逆に内婚弱勢になりがちです。雑種強勢は生物が生存力を維持する理由でもあります。

サツマイモを育てよう

昨年、春の植え付けから秋の収穫まで、上坂部小学校栽培委員のみなさんと一緒に尼イモを育てました。その様子をたどりながらサツマイモの育て方をご紹介します。

植え付け　6月

植え付け時期は５月から６月上旬です。サツマイモは痩せた土のほうが茎や葉が余分に茂り過ぎず（ツルボケせず）、根がよく育ちますので肥料等は不要です。日当りと水はけはよくしましょう。農業用資材の黒マルチ（ビニール製シート）をすることで、土のコンディションをよく保ち、雑草も防ぎます。

サツマイモは一般的に挿し穂を植え付けます。割り箸などで深さ10cmほどの穴を作り、さし穂の下２、３節まで土に入るよう植え付けます。植えたあとはたっぷり水やりをしますが、乾燥や高温に強いので、その後の水やりはあまり必要ありません。

夏の管理　9月

夏の間、ほとんど世話は要りませんが、マルチのない土の上までツルが伸びてきたら、適宜ツル上げをします。このツルをそのままにしていると、ツルから土に根を下ろし、たくさんのイモを作ろうとして、養分が分散しサツマイモが太りにくくなります。着地したツルを剥して、マルチの上にのせます。

収穫の際に切ったツルを冬の間、花瓶に生けて窓辺に置いておくと、次のシーズンの挿し穂として、使えます。

収穫　10月

収穫時期は10月頃です。

どんな風に地下で育っているかは、掘ってみてのお楽しみ。ツルを株元から切り、マルチを剥し、傷つけないようにスコップで掘りおこします。

栽培委員のみなさん、半年間お疲れさまでした。
伝統野菜を育ててみて、いかがでしたか。いつか尼イモを故郷の野菜として、思い出してもらえたら嬉しいです。

尼崎緑化公園協会設立４０周年記念

2017 春の花と緑のフェスティバル

開催日時：平成29年４月29日(土・祝)
9：00～16：00
※雨天時は、一部催しが中止となります。

開催場所：尼崎市都市緑化植物園(上坂部西公園)

激レア！尼崎市のバラ「ローズ･アマガサキ2016」を販売します

温室では華やかなベゴニア展を開催します

販売ブースで珍しいお花や野菜がみつかるかも！

垂直菜園花壇で会場を装飾します。

♪花苗配布・・・9：00～9：45まで。**先着300名**様に配布します。
無くなり次第終了となりますので予めご了承下さい。

※「緑の募金」にご協力いただいた後のお渡しになります。

盛り沢山の内容で
皆さまのご来園お待ちしてます

※お願い　駐車場はありませんので、公共交通機関、自転車、徒歩等でお越し下さい。

♪フェスティバル式典、表彰式、吹奏楽演奏、
　かわいい園児の音楽隊による歌や踊り、太鼓の演技などのステージ
♪各種緑化団体＆環境団体ブース
♪花と緑と野菜の市
♪ツリークライミング
♪懐かしい草木あそびなど各種あそびのコーナー
♪花と緑のクイズラリー
♪各種緑化団体＆環境団体ブース
♪飲食物販売　　などなど

第64回 尼崎さつき展

日時：５月２０日(土)～５月28日(日)
　　午前９：00～午後６：00(最終日は午後３：00まで)
場所：中央公園(阪神尼崎駅前)

今年も五月晴れのもと、64回目のさつき展を例年通り阪神尼崎駅前にて開催いたします。会員が丹精を込めて育てたさつき盆栽、銘花を市民の皆様に御鑑賞頂きたく存じます。今年も無償苗木の配布を始めとして沢山な催しがあります。お友達等お誘いあわせのうえ皆様のご来場をお待ち致しております。

チューリップを見に行こう！

昨年も多くの方に「花のまち あまがさきチューリップ運動」にご賛同いただきありがとうございました。市内全体に植えられたチューリップの球根は14万球になりました。また、東日本大震災被災地応援プログラムで尼崎市が支援を続けている宮城県気仙沼市でも１万５千球が開花の予定です。

＊市内の主なチューリップ花壇＊

・中央公園(阪神尼崎駅北)	21,000球
・尼崎市都市緑化植物園	2,500球
・アルカイック広場	1,600球
・ＪＲ尼崎駅北緑道	10,000球
・西武庫公園	2,000球
・阪急武庫之荘駅北広場	1,500球
・阪急武庫之荘駅南広場	12,000球
・小中島街園	1,000球

「中央公園チューリップ花壇」開放のお知らせ

期間：４月１日(土)～４月23日(日)

期間中、チューリップ花壇の中に入ってご覧いただくことができます。

「賛助会員」募集のお知らせ

- 年会費　3,000円／１口(1年更新)
- 特　典　鉢花等をプレゼント。
  「緑の相談所だより」(隔月発行)の送付。
  花の種子、球根類や資材の斡旋。

皆さまから頂いた会費により、駅前のプランターに花を植えたり、ボランティアを育成したりと有効に活用させて頂いております。

【お問い合わせ】協会事務所　TEL０６－６４９４－９０４６

「尼崎市花いっぱいの会」会員募集のお知らせ

- 年会費　１,000円／１人(1年更新)
- 3人以上のグループでお申し込みください。

自宅付近での花づくり活動を中心に、花づくり講習会や講演会、季節の花を観賞する施設見学会等、身近な花と緑いっぱいの環境づくりを目指しています。

【お問い合わせ】中央公園パークセンター
TEL０６－６４１１－８７１４

イベント・展示会・講習会のご案内

4月

上坂部西公園　緑の相談所　4月

・8日(土)　菊作り　13:30～15:30
講師：兵庫県菊花連合会　会長　保田三千男

・9日(日)　皐月盆栽 講習会 13:30～15:30
講師：尼崎皐月協会 会員

・15日(土) 小品盆栽 講習会 13:30 ～15:30
講師：尼崎小品盆栽山草会

・16日(日) 洋ラン 講習会13:30～15:30
「シンビジウム」
講師：尼崎洋ラン会会員
㊙申込･定員10名･費用1,000円

・23日(日)～5月7日(日)
展示会「ベゴニア展」

・23日(日) ベランダで夏野菜作り
10:00～12:00
講師：(一社)フラワーソサエティー　池田廣
㊙申込･定員15名･費用500円（苗付）

・23日(日) 洋ラン　講習会　13:30～15:30
「コチョウラン」
講師：尼崎洋ラン会会員
㊙申込･定員10名･費用1,200円

・29日(土)～5月28日(日)
展示会「2017 あまがさき
フラワーガーデニングコンテスト
入賞花壇写真展」

中央公園　4月

・21日(金)～23日(日)　展示会
「第33回小品盆栽と山野草展」
尼崎小品盆栽山草会会員が育てた春の風情
あふれる小品盆栽約20席を展示します。

5月

上坂部西公園　緑の相談所　5月

・6日(土)　菊作り　13:30～15:30
講師：兵庫県菊花連合会　会長　保田三千男

・13日(土) 洋ラン「カトレア」講習会
13:30～15:30
講師：尼崎洋ラン会会員
㊙申込･定員10名･費用1,500円

・14日(日) 皐月盆栽 講習会 13:30～15:30
講師：尼崎皐月協会　樋口孝男

・20日(土) 菊作り　10:00～12:00
講師：兵庫県菊花連合会　会長　保田三千男

・20日(土) 小品盆栽 講習会 13:30～15:30
講師：尼崎小品盆栽山草会

・21日(日) 料理を楽しむハーブの寄せ植え　講習会
10:00～12:00
講師：緑の相談員　坂本
㊙申込･定員15名･費用1,000円

・26日(金) 植物園ボランティア体験講座 10:00～12:00
講師：協会職員　田上義信
㊙申込･定員20名･費用不要(花苗付き)

・27日(土) 植物園ガイド 11:00～11:40
講師：尼崎市都市緑化植物園グリーンヘルパー

・28日(日) 洋ラン　講習会　13:30～15:30
「デンドロビウム」
講師：尼崎洋ラン会会員
㊙申込･定員10名･費用1,000円

中央公園　5月

・6日(土)～14日(日)　展示会　「児童絵画展」

・12日(金) ガーデニング体験講座 10:00～12:00
講師：協会職員　宮内和之
㊙申込･定員20名･費用不要(花苗付き)

・19日(金)～22日(月)　展示会
「みどりとやきもの展」

・26日(金)～28日(日)
展示会　「花と緑の墨彩画展」

尼崎の森中央緑地 から

◎いつでも体験プログラム(9：00～17：00)
4月　間伐材で人形づくり　／5月　春の生き物クイズ
(毎日無料で工作やクイズができます。)

◎森づくり定例活動(9：45～12：00)
4月2日(日)、21日(金)、5月7日(日)、19日(金)
森の手入れなど(申込不要)

◎あまがさき森っこ活動日(10：00～11：30)※受付9：45～
4月23日(日)春の森で野の花あそび
5月28日(日)春の森探検隊
※先着20名　親子での参加の場合は子ども優先

◎尼崎の森中央緑地案内ツアー
毎日実施 13：30～14：15
園内を回って森づくりの説明など
※申込不要　当日受付(団体などの場合は事前にご連絡ください)

※各種詳細は決定次第、webサイト「森のウェブマガジン」にて

お申込み・お問い合わせ

※有料講習会のキャンセルは1週間前まで。それ以降は材料の引き取りをお願いします。
※申込の際に持参品の確認をお願いします。

◎上坂部西公園　緑の相談所・西武庫公園・元浜緑地
TEL 06-6426-4022
◎中央公園パークセンター
TEL 06-6411-8714

尼崎の森中央緑地パークセンター
住　　所：尼崎市扇町33-4　TEL：06-6412-1900
開館時間：9：00～17：00
休 館 日：年末年始(12／29～1／3)

◆ 尼崎市都市緑化植物園　(上坂部西公園)　緑の相談所

〒661-0011 尼崎市東塚口町２－２－１　☎ 06－6426－4022 (fax同)
公園開園時間：4～9月 6:00～21:00　10～3月 6:00～18:00 (年中無休)
温室開館時間：10:00～16:00 (火曜、水曜、年末年始は休館)
緑の相談所開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで) ※年末年始は休館
園芸相談：10:00～12:00　13:00～16:00　☎06－6426－7500

平成29年度に尼崎緑化公園協会は
財団設立40周年を迎えます

◆ 中央公園パークセンター

〒660-0884 尼崎市神田中通１－４
☎ 06－6411－8714 (fax同)
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日：水曜、木曜、祝日、年末年始

[編集：発行] 公益財団法人 尼崎緑化公園協会　〒661-0979 尼崎市上坂部２－１－９
TEL：06－6494－9046　FAX：06－6494－9049　URL：http://www.amaryoku.or.jp/